



意見交換会

2月16日に学校教育に関する意見交換会を開催しました。保護者、地域の方から参加を募り、9人の方に参加していただきました。

10年後には豊田小の児童数は78人になる予想です。これから児童数が減少していくのは止めることのできない事実です。豊田小学校が地域の学校として存続していくために、保護者、地域、学校で豊田地区の子どもたちを見守り、育てていかなければなりません。地域の中で学校は何ができるのか、また、地域を支えていく子どもたちに地域は何ができるのか意見を出し合いました。

「学校を家庭的な雰囲気にして子どもたちが居心地のいい場所にする」

「様々な経験ができるようにするために、話し合いの場を多く持ち、周りの大人の協力を得る」

「地域から子どもに声掛けをしてあいさつをふやす」

「高学年が低学年を丁寧にみている通学団や縦割り班は豊田小の良い伝統になっている」

「小学校がなければ地域がさみしくなっていくので、学校に入っていく人の輪を広げる」

など、たくさんの有意義な意見をいただきました。これからも意見交換会を開催して、参加される方の輪を広げていきたいと考えています。堅苦しい雰囲気ではありませんので、保護者のみなさん、地域のみなさん、気軽に参加してください。



大なわとび集会

レインボー班対抗で大なわとび集会をしました。班でしっかりと練習に取り組み、1年生から6年生までが協力してきました。たいへん盛り上がり、次々に跳んでいく姿は感動するほどでした。縦割り班の取り組みは豊田地区で育っていく子どもたちにとってつながりを育む、とても良い活動だと感じています。校内のいろいろな行事にも生かしていきたいと考えています。

